

製品名: CLIC4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01833**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 29 kDa; Observed MW: 29 kDa

抗原情報

遺伝子名	CLIC4
別名	CLIC4; Chloride intracellular channel protein 4; Intracellular chloride ion channel protein p64H1
遺伝子 ID	25932
SwissProt ID	Q9Y696
免疫原	ヒト CLIC4 の合成ペプチド

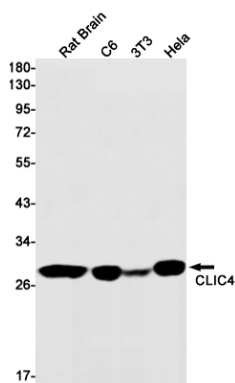
背景

膜に挿入され、選択性の低いイオンチャンネルを形成し、塩化物イオンも輸送する可能性がある。チャンネルの活性は pH に依存する。膜挿入は酸化還元制御を受けているようで、酸化条件下でのみ起こる可能性がある。HRH3 の細胞表面発現を促進する。血管新生や、有糸分裂および細胞質分裂中の頂端側-基底外側膜の極性維持といった、代替的な細胞機能を有する。また、内皮細胞の増殖を促進し、内皮細胞の形態形成（管状形成）を制御する可能性もある。

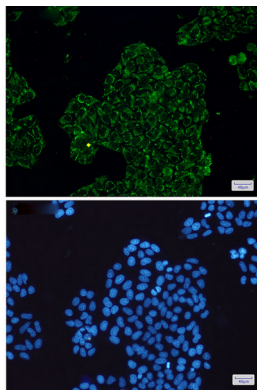
研究分野

細胞生物学

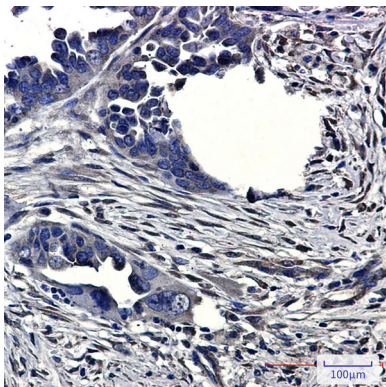
画像データ



CLIC4 抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の CLIC4 のウエスタンブロット分析。



CLIC4 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の CLIC4 (緑) の免疫細胞化学分析



CLIC4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。